



せなみっこ

第10号

令和4年12月23日

村上市立
瀬波小学校



瀬波小HP

「自分をみつめ、きらきらと目が輝く年末・年始になることを願って」

～冬休みも、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ～

校長 若月 隆雄

令和4年も残り少なくなりました。本日、2学期終業式を迎えました。せなみっこ一人一人のがんばりをたくさん見ることができた2学期でした。

今年の十二支は「寅」。寅年の意味は、春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。せなみっこの成長を感じ、これからぐんぐん伸びていくせなみっこの笑顔が輝いていました。

来年（令和5年）の十二支は「卯」。うさぎは跳ねる動物であることから、農作物が跳ね上がる程の豊作という意味として、うさぎが割り当てられたとされています。また、穏やかで家内安全の象徴という意味を持ち、新しいことを始める年にも最適だと言われています。

いよいよ明日から冬休みです。クリスマス、年末年始等、様々な体験や経験をする冬休みです。人間の能力を最大限に伸ばすためには、様々な学びや体験・経験等を通して、できるだけたくさんの脳の配線を構築することが大切であり、そのためには、「子どもの目が輝く瞬間をいかに多くつくれるか」が肝心とされています。

子どもの目が輝く瞬間には、人間の脳内ではアーモンドの形をしている脳の扁桃核というアーモンド脳が主役として関係しているそうです。面白いと判断されれば瞳孔が30%開き、光を多く取り入れることで目がキラキラするのです。その瞬間に脳細胞の間に配線が伸び、つまり目がきらきら輝くときに脳の配線が構築されると言います。

このように、興味・関心が高い意欲的な学びや面白い特別な体験や経験が、脳の配線をたくさん構築し、能力が伸びていくことにつながるということが理解できます。子どもの目がきらきら輝く瞬間を多くつくるのが学校教育でも、家庭教育でもとても大切なことだと思います。

冬休みにおいて、特に子どもたちの瞳がきらきら輝く素敵な体験や経験ができる時間が多くなることを願っています。そして、自分をみつめ「夢や目標」を新たに強く意識し、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジできる様々な能力を伸ばす冬休みになることを祈っています。

「いじめ・差別をしない、許さないやさしいせなみっこ」をもとに「人権教育、同和教育」を推進し、ふるさとを愛し、よりよい今と未来を切り拓く子どもたちをこれからも育てていきたいと思えます。令和4年の2学期を振り返れば、とても充実した実り多い様々な教育活動を行うことができました。いつもご支援をしてくださっている保護者の皆様や地域の皆様のおかげです。心より感謝申し上げますとともに、よい新年を迎えますようご祈念いたします。